

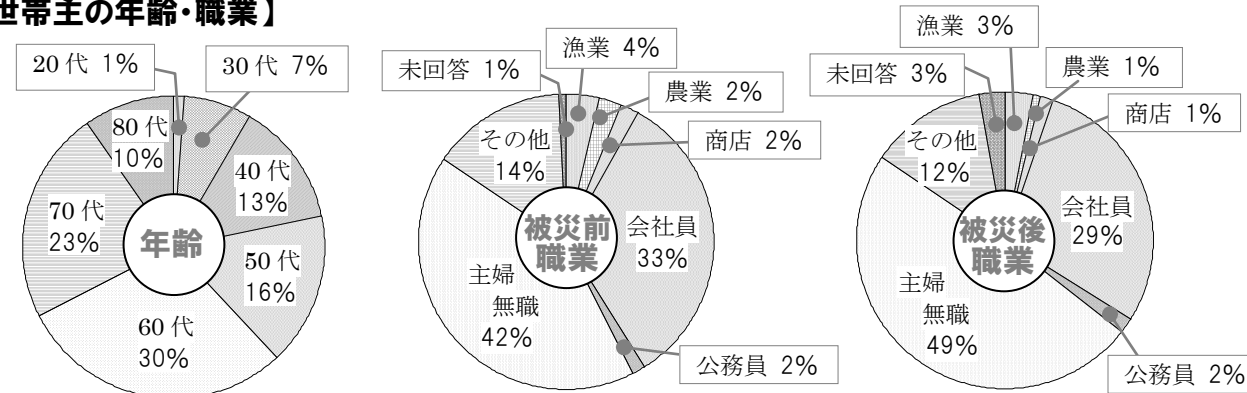
赤前地区及び津軽石地区（栄通り・駒形通） 復興まちづくり 個別意向調査の結果（報告）

赤前地区及び津軽石地区（栄通り、駒形通）の皆さんの土地利用・居住等の意向を確認するため、個別意向調査（聞き取り又は郵送）を平成24年2月～3月に実施しました。
ここでは、その結果の概要を皆さんにご報告します。

＜回答数＞
251 / ＜配布数＞
319 = ＜回答率＞
79%

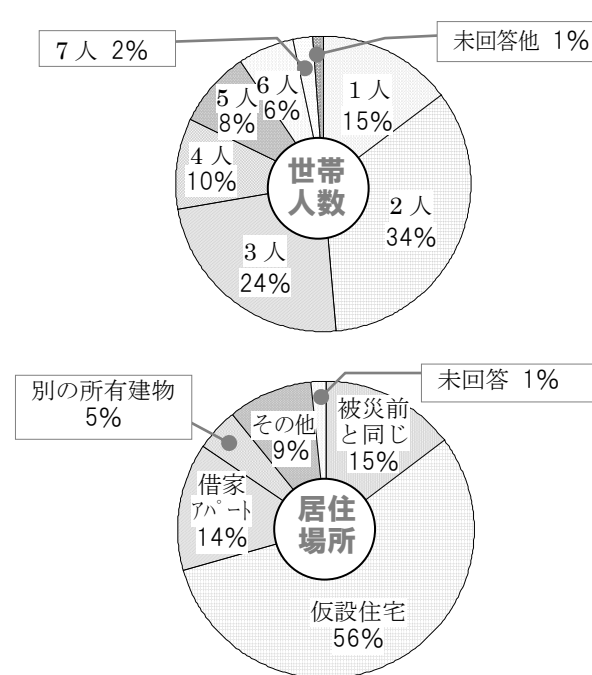
※調査対象者は、防災集団
移転促進事業及び土地区
画整理事業が想定される
区域に住んでいた方

【世帯主の年齢・職業】



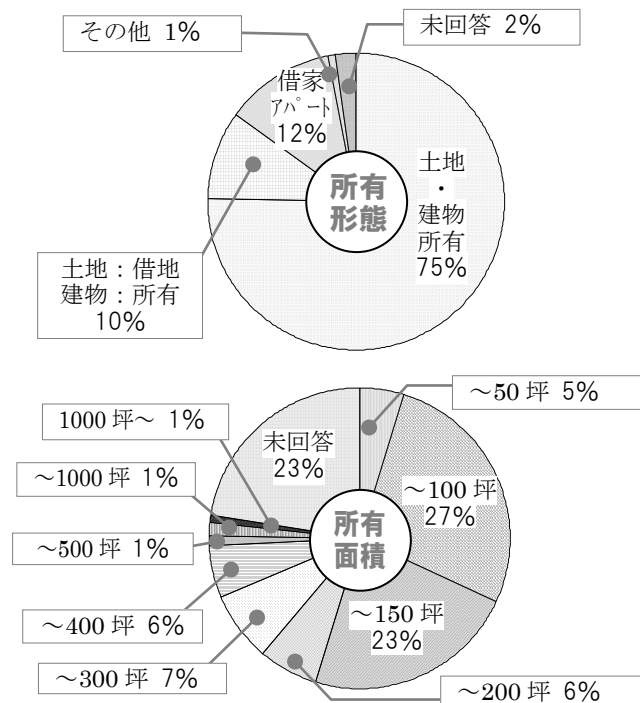
- 60歳代以上の高齢な世帯主が2/3を占める
- 被災前／無職が42%であるが、被災により49%に増加

【世帯の状況・現在の居住場所】



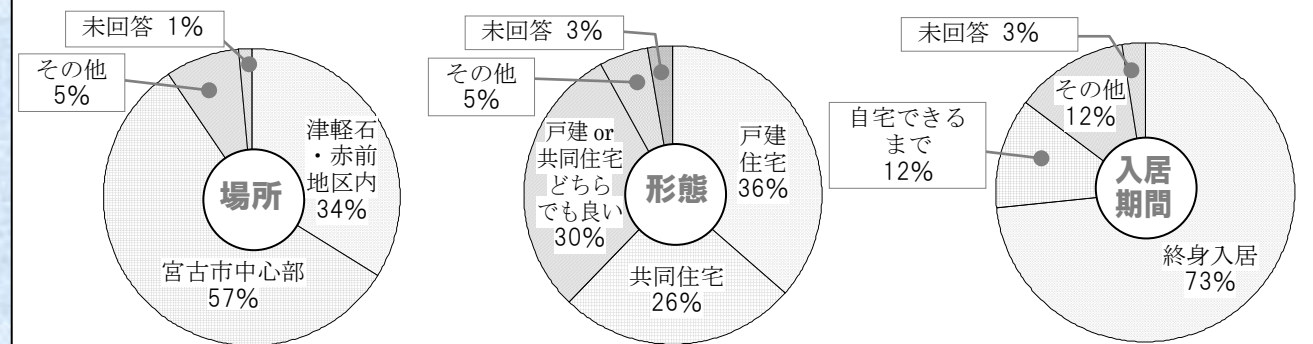
- 2人以下の少人数世帯が1/2を占める
- 仮設住宅入居世帯は、1/2を超える

【被災前の土地の状況】



- 土地&建物の所有が多く、3/4を占める
- 土地面積は、50～150坪所有が半数を占める

【公営住宅の形態等】… 公営住宅希望者のみ



- 市中心部希望者が1/2を超える
- 戸建 or 共同の形態の希望は、大きな差は無い
- 終身入居希望が73%であり、自宅再建までの期間限定希望は12%に留まる

【再建希望者の意向】… 津軽石・赤前地区内での再建希望者のみ

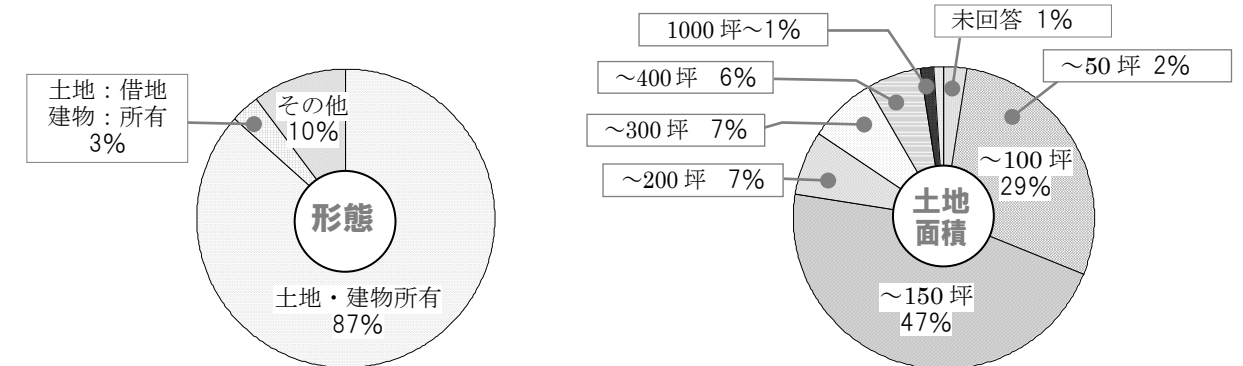
＜津軽石・赤前地区内で再建したい理由＞

●現位置での再建希望の主な理由

- リフォーム済み
- 金銭面での不安
- 住み慣れた環境
- その他（安全、家庭・仕事事情等）

●エリア1～3での再建希望の主な理由

- 住み慣れた環境
- 元の場所の近くに住みたい
- 安全面（津波の恐れのない高台）
- 便利



- 現位置 or 現位置付近の希望する主な理由は、住み慣れた環境を重視するため
- 再建の希望形態は、大部分が土地・建物の所有
- 再建の希望面積は、50～150坪の規模が多く、全体の3/4を超える

個別意向調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

早期復興のためには、皆さんの意向を確認し、できる限りまちづくりに反映することが極めて重要です。

そのため、今後も意向調査を実施しますので、引き続きご協力をお願いします。

【連絡先】 宮古市 都市整備部 都市計画課 復興まちづくり担当
TEL：0193-62-2111（代表） FAX：0193-63-9115

【今後の意向】・・・ 居住場所の希望

